

「人口減少問題対策」にかかる提案【創生推進委員会】

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
①	城委員	冬季雇用対策事業	町内企業	町、商工会議所、建設業協会、農業団体など	加速する人口減少問題を背景に、労働者の多くが通年雇用を希望する中、地方の降雪地域では、冬期間の仕事が乏しいこともあり、農業や建設業を中心に、繁忙期の深刻な人手不足という課題を抱えている。 各業界ともこれと言った解決策もなく、人材確保に苦慮している現実を踏まえ、町が中心となって協議の場を立ち上げて、オール美幌で課題解決に取り組む。 ①協議体の設立 町、商工会議所、農業団体、建設団体など ②協議体の趣旨 分野ごとの作業労働者確保や冬季雇用対策等を検討する。 ③その他 協議結果によっては、次年度以降に視察等の予算措置が必要。		
②	城委員	農業生産法人育成支援事業	農業生産法人化する農家	町	町内で新たに農業生産法人を設立しようとする者（複数個による法人経営）に対し、運転資金の一部を助成することで、当該法人による農畜産物の安定的な生産が図られ、さらには美幌町農業の発展と農地保全並びに雇用創出にも寄与することが見込まれる。 ①補助機関 法人設立から3ヶ月 ②補助率 対象経費の1/2 ③補助対象 ・登記費用（設立に係る登記費用など） ・固定資産税・償却資産税（農地・建物・機械など） ・不動産取得税（農地取得） ・設備費用（農舎・作業機など） ・賃貸料（農地・作業機・車両など） ・その他（税理士報酬、公認会計士報酬など）	300万円/年 を上限（最大 3ヶ月）	

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
③	城委員	特産品創出支援	町内の企業又は個人事業主	町、観光物産協会など	町内資源（農・林など）の付加価値化を促進し、美幌町のブランド化や関連産業の振興を図ることを目的とした特産品の開発に係る費用を補助する。 ①補助率 補助対象経費の2／3以内 ②補助対象経費 ・人件費（商品開発に従事した分の人件費） ・報償費（外部専門家の指導費やコンサルタント費など） ・原材料・消耗品費（試作に必要な原材料・消耗品などの購入費用） ・外注費（試作品や商品に係るデザイン・パッケージなどの外注加工費） ・設備費（機械や設備の購入費又はリース費など） ・調査費（マーケティング調査や展示会出展などの費用） ・その他（商標登録・試食会・商談会経費など） ③その他 ばらまき政策ではなく、一定の基準を設けて審査会や有識者による内容の審議も必要。	1案件当たり300万円以内	
④	城委員	託児所開設支援事業	町内企業	町	労働力確保対策の一環として、町内企業が従業員向けの託児所（就業中の預かり保育）を開設することで、雇用創出と当該企業の安定的な生産体制の構築を目指し、当該施設の設置。運営に関する費用の一部を補助する。 ①補助期間 施設設置から3カ年 ②補助率 対象経費の1／2 ③補助対象 ・人件費（保育士など） ・施設費（託児所の建設費・賃貸料・リフォーム料など） ・施設運営費（水道光熱費・保険料及び備品購入費など） ・その他（固定資産税、不動産取得税など）	1事業所1施設につき年300万円を上限（最大3年）	

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
⑤	城委員	観光振興強化対策事業	美幌観光物産協会	町	観光物産協会における年間の総体予算は約2,200万円で、主な収入の内訳は会費収入200万円、町補助金800万円、事業収入1,100万円、その他収入100万円で、ここから人件費や事務費あるいは所属する会議体への負担金などを除くと、実際に各種イベントで使える金額は毎年500万円弱となっている。 今後、既存事業の拡充や新規事業を検討するには広範囲にわたる情報収集や人員の強化が必要と思われることから、町の補助金を増額し、現在、様々な議論が行われている「美幌町観光振興革新戦略策定会議」など関係機関との連携を図りつつ、同協会を軸に本庁の観光振興の更なる発展を期待する。 ①対象先 美幌観光物産協会 ②対象事業 同協会の一般会計	3,000万円/年	
⑥	城委員	ビジネスホテル誘致事業	ホテル経営企業	町、町内企業	町内で新たにビジネスホテルを経営する企業に対して、固定資産税や償却資産税の減免措置を講じるとともに、町内企業に対しては年間ルームの購入などを働きかける。 ①補助期間 開業から3年 ②補助率 固定資産税と償却資産税の減免(1/2) ③その他 ホテルの稼働率向上を図るため、例えばシングル1室を年30万円で、町内や近隣町村の企業とシーズン契約する。		
⑦	城委員	町職員養成事業	町内の企業または個人事業主	町	地方創生、人口減少対策、観光振興など地方行政が抱える諸問題が山積みするなか、町職員にも様々な知識や経験の習得と柔軟な発想が求められていることから、優れた職員の養成と地域に根ざした行政活動の推進を目的に、町内企業または個人事業主等の協力により、町職員対象の実施研修を実施する。 ①対象職員 採用5年以内の職員 ②研修内容 ・町内企業又は個人事業主での短期研修(概ね20日間) ・研修先は2先2業種以上とする。 ③研修費用 ・受入先企業に対して職員1人当たり5千円/日支給。 ・研修に要する経費は企業側が負担する。(資料、レセプション、ヘルメット、作業服、長靴など)	50万円/年(5千円×20日×5名)	

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
⑧	石川委員	カラマツ認証材ブランド化実証事業	町内外の建築業者、工務店、プレカット工場など	町、美幌町森林組合	美幌町森林組合では、町有林を含めて平成17年度に国際森林認証(FSC)を取得し、国際基準で環境に配慮した森林づくりを進めており、森林認証材活用促進事業補助金制度を創設し、認証材の活用促進にも取り組んでいる。 また、町では認証森林を活用して企業の社会・環境貢献活動として森林づくりを進めている。しかし、昭和30年から40年代に植栽されたカラマツは利用伐期に達しているが、集成材用原料(ラミナ)及び梱包材を主体として利用に留まっているのが現状である。 町の森林認証材活用促進事業補助金制度に利用されているものは、森林組合で製材されたものが、下川町の集成材工場で加工され、斜里町でプレカットされたもので、大半が町外で加工されたものである。 認証材の普及・販路拡大を図るためには、原木及び製材品のみでは困難で、製品化することにより販路拡大につながる可能性が大きい。 また、製材を近年(独法)林産試験場で開発された高温乾燥するコアドライ材は完成品であり、内装材、家具材などにも利用可能で活用法も格段に上がり、認証材販路拡大に大いに役立つと考えられる。 加工施設導入を検討するための実証実験を行う事業で、主に乾燥機の借り上げ、加工、運材、普及のための費用助成で2棟分程度を予定している。	乾燥機借上料 加工料、 運搬料、 普及費 など概算で100万円程度	森林認証材活用促進事業補助金制度で建築される全棟
⑨	石川委員	優良種苗(クリーンラーチ)生産技術の確立	美幌町内の森林所有者	町、美幌町森林組合	美幌町においては、平成17年度に森林認証(FSC)を取得し、国際基準で環境に配慮した森林づくりを進めていることから、野鼠駆除のための薬剤散布自粛が求められており、耐鼠性の高いグイマツ雑種F1の植栽が望まれているが、入手はきわめて困難な状況にある。 また、近年、林業試験場が開発したクリーンラーチは性質及び耐鼠性に優れていることから、種苗業者において苗木づくりが行われるようになってきたが、十分な受給体制が整っていないのが現状である。 一方、昭和40年代に植栽されたカラマツが伐期を迎え、苗木の需要が増加しており、森林組合においても苗木生産の必要性が高まっている。 クリーンラーチの生産には高い技術力が求められ、十分な研鑽が必要であることから、(独法)林業試験場より講師派遣していただき、技術者の養成を図る事業。	講師料:3万 ×5回=15万円 旅費:2万×5 回=10万円	年間10万本生産を予定(町有の認証林を対象に植栽)

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
⑩	横山委員	農園カフェ	観光客・町民	飲食店(既存・新規OK)(町、食堂組合、美幌商工会議所)	みどりの村休憩施設 元「焼肉ハウスびほろ」の有効活用。 美幌町の雄大な風景を眺めながら、地元食材を活かした食事を楽しめる「農園カフェ」のオープン。 「美幌の風景を眺めながら地元メニューを」多くの人に足を運んでもらい、景色と味覚を楽しんでもらう。 ・期間限定(約1ヶ月間)で、施設から眺めたときに一番素晴らしい時期に。 ・午前11時～午後3時はカフェタイム(サンドイッチ(地元野菜と美幌豚)とアスパラスープのセット 限定など) ・午後6時～9時はディナータイム(「美幌こだわりビュッフェ」限定(美幌産を中心に地元食材にこだわった贅沢なビュッフェ、ワンドリンク付き)	施設使用料(期間分) ディナータイムでの無料バスの運行(バス代の経費)	みどりの村(休憩施設、キャンプ施設)来場者数:前年度比10%増
⑪	横山委員	元気な起業化応援事業第2弾	新規に起業する方(町内への移住希望者優先)	町、商工会議所	中心市街地エリアでの空き店舗対策の一環(中心市街地の活性化と人口減少策として) ＜実験店舗の運営＞ ・1建物に1区画7～8平方メートルのスペースを10店舗分確保。 - 実験店舗の改修は町負担にて整備し、出店に伴う必要な部分は出展者負担とする。 ・お試し期間を含め、最大6ヶ月間の出店とし、家賃・水道光熱費は無料とする。 ・仕入れ業者の紹介やホームページ・フェイスブックを使ったPR方法などを助言。 ・6ヶ月目以降の出店には、新たな場所の紹介を含め、既存の補助金制度を活用する。	実験店舗の改修費用 6ヶ月間の家賃・水道光熱費	起業支援件数:10件 人口増最低:10人 中心市街地往来者数:前年比10%増

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
⑫	横山委員	高校の魅力化による地域活性化～連携型中高一貫教育事業～	美幌高校、町内小中学校	町、美幌町農業協同組合、美幌商工会議所、美幌観光物産協会	・高校の統廃合が地域に与える影響は大きい。(少子高齢化と人口減少に拍車をかける) ・教育力が移住・定住にも影響(移住の問い合わせの際に、子どもを持つ親の場合、必ず教育の質、とりわけ高校での教育の質について問われることが全国的に多いそうです。) ・子育て世代が流出し、UIターンも減り、人口が増える要素がない。 ①「食のスペシャリスト育成」で地域活性化を。 美幌高校地域資源応用化と地域との連携で「食」に特化。 ②「地域に根ざした魅力ある人材づくり」で地域活性化を。 生産環境科学科と地域との連携で「豊かな感性や創造力、社会性」に特化し、豊かな心を持った時代を担う「人づくり」を。 ③美幌の宝である子どもたちを、学校・家庭・地域・行政が一体となり育てよう」 ・町内の全教職員が集まる小中高一貫教育総会の開催 ・小中高の児童会・生徒会役員が集まり協議する「児童会・生徒会サミット」 ・交流授業や授業の見学、体験 ・まちぐるみ応援団「美幌高校を応援する会」(仮称)の発足 ・一般町民を対象に「美幌高校農場1日観光ツアー」の実施		定住者数:5 家族 今後も住み続けたい割合:90%
⑬	横山委員	民泊体験の受入拡大事業	地方からの移住・交流予定者	町、美幌町農業協同組合、美幌商工会議所、美幌観光物産協会、貸家業組合	美幌町のありのままの暮らしの魅力を、より多くの人に知ってもらうため、子どもから大人まで、様々な需要(農業、加工品、自然他)に対応できるようコーディネートや宣伝が出来る仕組みづくりをする。 ○「びほろ暮らし体験団」組織の立ち上げ ・民泊可能な住宅の確保 ・体験、イベントメニューの可能性確保 - 子ども＝食育と自然体験 - 大人＝生きがいと参加する楽しさ ・情報の発信(フェイスブック、SNS、ブログ)	体験、イベントの中身により予算が出てくる。情報発信も現状を活かせばほとんどかからない。	移住・定住者 家族数:3家族

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
⑭	信太委員	美幌へおいでよ美幌さん！	町内飲食店、入浴施設、宿泊施設 など	町、美幌観光物産協会など	美幌町には、約60もの美しい清流があり、水量豊かな地域であることから、アイヌ語で「ピ・ポロ＝水多く、大いなところ」といい、これが転訛して「びほろ」と名付けられました。 日本全国には「美幌」を訪れた思い出や、その美しい響きや語感から「美幌」や「みほろ」と名付けられて人生を歩まれる方々が多くいらっしゃいます。 そんな「美幌」さんたちへ美幌来町を呼びかけ、町へ訪れていただく際に、精一杯のおもてなしをさせていただくことで、本籍へ帰られた「美幌」さんが、美幌町の思い出、見所、美味しかったものなどを情報発信することで、美幌町の知名度、イメージアップを図ることを目的とします。 ○美幌町に訪れ、認定申し込み(身分証)した「美幌」さんに、認定証と認証バッジを発行 ・名前の由来が美幌町からの人 ・名前(読み方)が「びほろ」「みほろ」を含む人 ○認定者には次の特典が付与(1日限定など) ・美幌峠での飲食FREE！ ・入浴施設(峠の湯、後樂園)FREE！ ・宿泊施設(旅館組合加盟店)FREE！ ・誕生日にはグリーティングカード送付！ ・その他美幌町民からの熱烈な歓待！	年間20名想定×3万円(飲食、入浴、宿泊等) 宣伝費40万円 計100万円	26年度美幌町宿泊者数20,531名(ビジネス客:観光客→8:2) 観光客推計4,106名→10%増の4,500名に。
⑮	吉江委員	自衛隊維持・拡充事業	美幌自衛隊(防衛省)	町、美幌商工会議所	美幌町において自衛隊隊員はごく普通の住民であり、また、自衛隊隊員が隊服で歩いても気にならないなど、町に融合していることが感じられる。 全国的には自衛隊隊員が増加しているが、残念ながら美幌自衛隊は減少を続けたままのことである(遠軽自衛隊は増加している。美幌自衛隊は公表800人とされているが、実際には600人を割っているとのこと)。 国策でもある自衛隊配置ではあるが、減少防止はもちろん、増加するよう計画的・継続的・長期的に陳情していく。	0円	隊員数50～100名
⑯	吉江委員	移住支援事業	町外からの移住者	町、美幌商工会議所	町内において町外から移住に伴う新築住宅を建てる移住者に対し、町所有の土地を無償で譲渡する。 ＜条件＞ ・町内の建築業者を利用 ・10年以上居住すること ・売買する際は一定の違約金を徴収 →町内の建築業者の仕事増 美幌町は固定資産税を徴収できる	0円	年間2名程度

No	提案者	事業名	対象者	事業実施者	事業内容	予算額	指標
⑰	吉江委員	大学誘致事業	大学、短大(付属校や研究所を含む)	町、美幌商工会議所	美幌町は交通アクセスの要衝であり、空港も近くまた広大な土地を有していることから、農業関係に係る大学、短大を誘致する。 大学、短大にかかわらず付属校・分校・研究所等の誘致(特色ある学部) 誘致することにより、町内の消費アップ、アパート入居増、新築アパート増、商品の共同開発など		1校(1施設)
⑱	吉江委員	農産物支援事業	農業者	美幌町農業協同組合、農業者	今後、TPP等外部環境変化により、国産で安心・安全な農産物が求められるときが来る。 その際は、上記だけでなく付加価値のあるものが商品の武器となるので、ビニールハウスなどにより、南国の果物、野菜などを育成・販売する。 北限パイナップル、北限キュウイ、北限オレンジ、北限グレープフルーツ、北限マスカットなど		
⑲	村田委員	観光大使養成事業	町内の外国人労働者	町、外国人雇用企業	美幌町内で働く外国人を対象に、町内の施設見学、近隣の観光に参加してもらう(無料)。 帰国時に観光パンフレットやDVD等を持ち帰ってもらい、出身地の役所や図書館においてもらい、口コミを含めて美幌町のPRをしてもらう。	バス代10万円 昼食代(30人分)3万円 計13万円	外国人観光客の増加:1%増
⑳	村田委員	美幌町最低賃金事業	最低賃金対象者	町、町内企業	北海道最低賃金764円に対して、美幌町は800円として、美幌町の労働環境のイメージアップを図る。 また、最低賃金対象労働者の生活水準向上となる。	1人当たり36円×8時間×20日×12ヶ月=69,120円のアップ 対象人数×69,120円	美幌町のイメージアップ 賃金増による消費拡大
㉑	村田委員	人材バンク事業	全町民	町	文化団体、スポーツ団体、個人等の特技や資格をホームページに登録し、自治会、商店会、学校、各種施設の行事や学習に活用してもらう。 名称、代表者、連絡先、活動内容、経費などを登録する。		ホームページ閲覧数の増加 各種団体の活動の活性化
㉒	村田委員	子ども育成・見守り事業	「きてらす」利用者	町	美幌林業館「きてらす」に子育て相談員を配置し、利用者の相談、昔の遊びなどを教える。 利用者の多い時間帯を調査し、1日3時間程度実施する。	相談員賃金100万円	「きてらす」の入場者増加:5%増加 新米両親の不安解消